
thye friends

杉飼双

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

th y e e f r i e n d s

【Nコード】

N 7 9 7 3 X

【作者名】

杉飼双

【あらすじ】

ゆるくて、きつくて、いろんな気持ちです。

1 (前書き)

今の気持ちを大切に。

今日は何事も無く過ごせました。

本当に平和に平和に過ごせました。

勉強も、部活も、友達とも楽しく過ごせました。

前に合ったことは何だったのでしよう。

今から思うとまるで夢のようですね。

そのときの私は感じませんでした、それはそのときしか味わえない青春だったのだと思います。

きっとこれからもいろんなことがあるはず。

そう、青春。

青い春。

まだ終わったわけではありませんが、その気持ちを大切に、今味わえる独特の気持ちを、いっぱい綴っていききたいです。

昔の事も、これからの事も。

いっぱい、いっぱい。

子供の皆さんは、同感していただけると幸いです。

大人の皆さんは、こんなこともあったと、懐かしい気持ちを味わってくれたら、幸いです。

では、はじめましょうか。

2 (前書き)

私は、情報屋。

そういつているんな情報を入手していて、情報を買っていた。

それでも自分は中学生。

しょせんは中学生。

深入りしすぎた、いろんな世界。

知らなければ良かったそんな世界。

情報は、いっぱいほしかった。

私はなんでも知ってるよってみんなに言いたかった。

自慢を・・・したかった。

でもさ、知らなければ良かった話しなんていっぱいあることに気づいた。

気づくのが遅かった。

人には、知られて嫌なことや、広められて嫌なこと、いっぱいあるんだってその頃知った。

何々ちゃんの好きな人って何々ちゃんなんだってえ。

何々ちゃんの点数は何点なんだってえ。

何々ちゃんって嫌われてるらしいよ。

私はさ、利用されてたんだ。

いろんな人に。

友達のふりをされて。

いろんなことに利用されて、それでも気づいてない自分が情けなくて、気づいた自分は発狂でもしそうな勢いだった。

それじゃあ、私は、利用されてるって気づかない方がよかったのかな。

気まずい関係になるぐらいなら、気づかずにそのまま利用されていけばよかったのかな？

なんか、違うな・・・

そんな気がする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7973x/>

thye friends

2011年11月5日23時03分発行